

第3次中期経営計画 ―戦略骨子― ESG経営

特定した機会とリスク・課題を元にESG経営への取り組み方針を策定し、 各プロジェクトを通じた具体的な取り組みの実践により、社会課題の解決へ貢献する。

【短期ESG経営計画】

【機会とリスク・課題の特定】	機会とリスク	優先取り組み課題	目指すべき姿
気候変動と自然災害	■ 電動化車両等の市場拡大 ■ エネルギー・資源コストの上昇 ■ サプライチェーン含む工程全体での環境負荷低減ニーズの高まり	■ 次世代車両向けの部品の開発 ■ CO₂排出量削減に向けた事業プロセスの見直し ■ 汚染防止・資源循環・環境負荷物質削減等の取り組み推進	■ 次世代車両向けの部品の開発を通じ、環境保護ニーズに対応するクルマの製造に貢献する ■ 製造工程の改善・物流の効率化を図る中で、事業プロセスにおいてもCO₂排出量削減に向けた取り組みを実施する ■ 廃棄物の削減・資源（水・原材料）の有効活用等に積極的に取り組み、地球環境の医事に努める
人々の価値観やニーズの多様化	■ ダイバーシティ経営の広がり ■ ワークライフバランスの変化 ■ 人や社会、環境に配慮した消費行動の浸透	■ 多様性の推進 ■ 働きやすい労働環境の整備 ■ 持続可能な調達の実現	■ 幅広い人材を採用するとともに、一人ひとりやりがいを持ち、力を最大限発揮できる職場づくりに取り組む ■ サプライチェーン全体を通して、安定的な製品提供が行える管理体制を構築する
企業への高レベルのガバナンスの要求	■ 高い倫理感・法令遵守への社会要請の一層の高まり ■ 災害発生時・感染症発生時の事業停止リスク ■ グループ企業全体でのサステナビリティ経営の実践	■ 法令遵守を徹底する管理体制の構築 ■ BCPの継続的な改善 ■ 海外拠点におけるガバナンスの向上	■ グループ企業全体で法令遵守の取り組みを徹底するとともに、さらにサプライヤーまで目配りしたコンプライアンスに配慮した事業活動を実施する ■ サプライチェーン全体を通して、安定的な製品提供が行える管理体制を構築する ■ 海外拠点と連携を深めることでシナジーを生み出し、当社グループの事業活動において一層の付加価値創造に努める

ESG経営への取り組み方針

- 独自技術を活用した製品製造を通じた、環境配慮型商品製造への貢献と環境負荷低減の推進
- 多様な人財が活躍できる労働環境の整備の推進と安定した製品供給に向けた管理体制の強化

【経営計画との関連性】

